Operation Guide 2787

CASIO

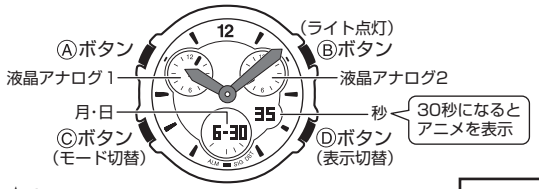
操作のしくみと表示の見方

（本書の表示例では、アナログ部（針）を省略する場合があります。）

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※アラームモード、ハンドセットモードのまま２～３分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



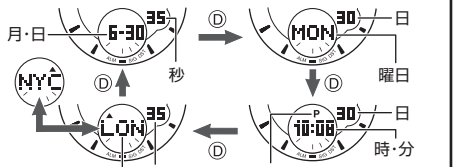
★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火
WED：水　THU：木　FRI：金
SAT：土

＊液晶アナログの見方については「液晶アナログ表示について」参照。

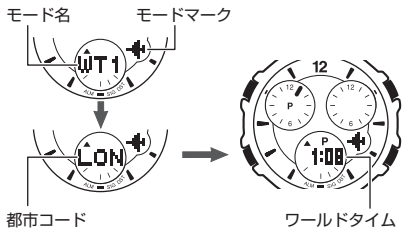
★表示切替について

Ⓓボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

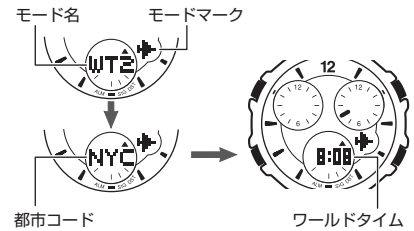


＊都市コードは、液晶アナログ1と液晶アナログ2で表示している都市を交互に表示します。

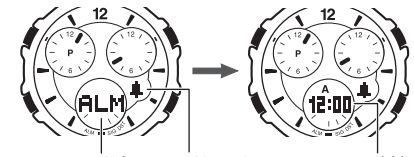
ワールドタイム1モード



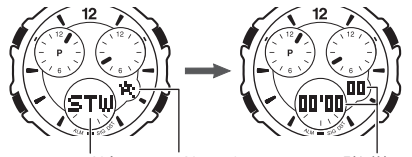
ワールドタイム2モード



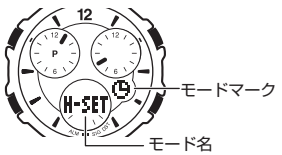
アラームモード



ストップウオッチモード



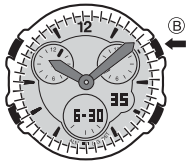
ハンドセットモード



ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも時刻を見ることができます。

※ライトの点灯時間は約1.5秒間と約2.5秒間のいずれかを選ぶことができます。



■ご注意■

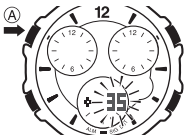
●直射日光下では発光が見えにくくなります。
●発光中にⒷボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

●点灯時間の設定

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約1秒間押します

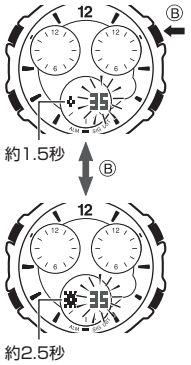
➡「秒」が点滅します。



(2)点灯時間を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに約1.5 秒間と約 2.5 秒間が切り替わります。



(3)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

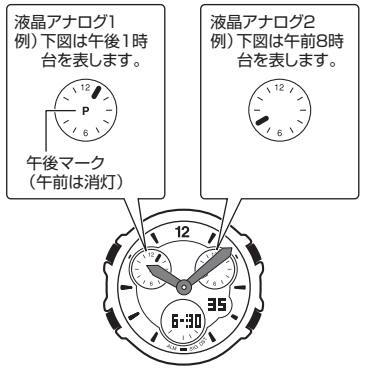


液晶アナログ表示について

- 液晶アナログ１
  ワールドタイム１モードで選んでいる都市の時刻の「時」を表します。
- 液晶アナログ２
  ワールドタイム２モードで選んでいる都市の時刻の「時」を表します。

液晶アナログから「時」を、アナログ部の分針から「分」を読みとると、ワールドタイムを簡単に知ることができます。

※液晶アナログはどのモードのときでも表示されます。ただし、ワールドタイム１モードでは液晶アナログ１のみ、ワールドタイム２モードでは液晶アナログ２のみ表示します。



<時刻モード>

■ご注意■

●ホームタイム都市の時差とワールドタイムモードで選んでいる都市の時差との差に0.5時間の端数がある場合は、実際に見える分針を30分進めた（戻した）位置がワールドタイムの「分」となります。
●アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、液晶アナログが正しく表示されませんので、違っているときは正しくセットしてください。

＊「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、ワールドタイム1またはワールドタイム 2モードにします。

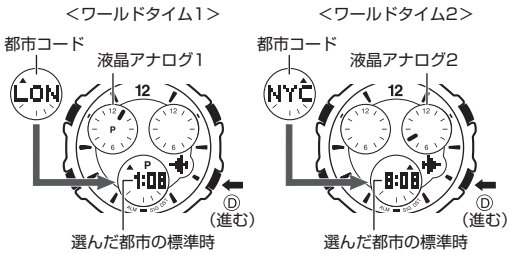
世界40都市（27タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。
本機には、2つのワールドタイムモード（ワールドタイム1／ワールドタイム2）があり、それぞれ選んだ都市の時刻を表示させることができます。
※ボタン操作は、ワールドタイム1モードとワールドタイム2モードで同様となります。
※モードを切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
*「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24 時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に 24 時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイム１またはワールドタイム２モードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進みます。都市コードを表示後、その都市の時刻が表示されます。
※押し続けると早送りします。
※ワールドタイム１モードでは、ワールドタイム２モードで選んでいる都市の時刻は表示されません。
※ワールドタイム２モードでは、ワールドタイム１モードで選んでいる都市の時刻は表示されません。



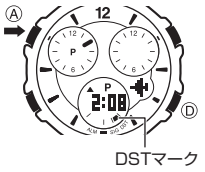
■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイム１またはワールドタイム２モードのとき、Ⓓ ボタンを押して、サマータイム設定したい都市を選びます。

Ⓐボタンを約1秒間押します



➡Ⓐボタンを約1秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムを ON にすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	–11	パゴパゴ	JRS	+2	エルサレム
HNL	–10	ホノルル	JED	+3	ジェッダ
ANC	–9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
YVR	–8	バンクーバー	DXB	+4	ドバイ
SFO	–8	サンフランシスコ	KBL	+4.5	カブール
LAX	–8	ロサンゼルス	KHI	+5	カラチ
DEN	–7	デンバー	MLE	+5	マーレ
MEX	–6	メキシコシティ	DEL	+5.5	デリー
CHI	–6	シカゴ	DAC	+6	ダッカ
MIA	–5	マイアミ	RGN	+6.5	ヤンゴン
NYC	–5	ニューヨーク	BKK	+7	バンコク
CCS	–4	カラカス	SIN	+8	シンガポール
RIO	–3	リオデジャネイロ	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
IST	+2	イスタンブール	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は 2003 年 6 月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、アラームモードにします。

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

(1)セット状態にする

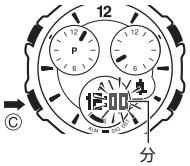
アラームモードのとき、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。

(2)セット箇所を選ぶ

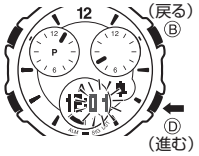
Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

(3)点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(2)～(3)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます 。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

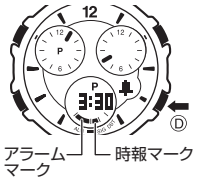
(4)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

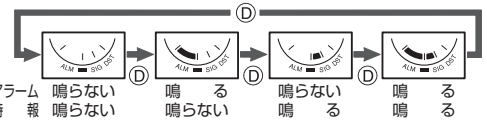
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
※ それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

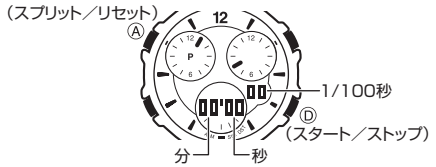
「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

★計測中にⒶ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後Ⓐ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

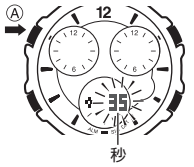
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。
※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

■デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約1秒間押します

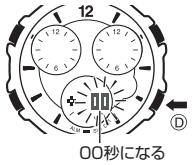
➡「秒」が点滅します。



(2)秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

➡「00秒」からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



※ 秒が点滅しているときにⒷボタンを押すと、ライトの発光時間を切り替えることができます（「●点灯時間の設定」参照）。

(3)サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとにON／OFFが切り替わります。
※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します。
※ OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON＝サマータイムON（夏時間）

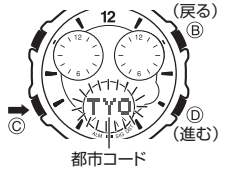


* サマータイム（DST）については「■サマータイム（DST）について」参照。

(4)ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。（「■都市コード一覧」参照）

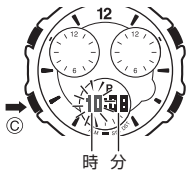


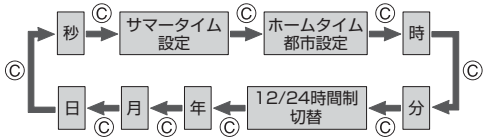
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(5)「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

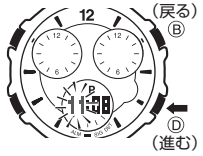
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24時間制切替は、Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）が切り替わります。
※「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(6)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アナログ部（針）の合わせ方

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備：「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ハンドセットモードにします。

(1)セット状態にする

ハンドセットモードのとき、Ⓐ ボタンを約1秒間押します

➡表示が点滅します。



(2)アナログ部を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。
※ 押し続けると早く進みます（針は逆方向には進みません）。



★針の自動早送り

Ⓓ ボタンを押し続けて早送り中に Ⓑ ボタンを押すと、ボタンから手を離しても針が進み続けます。
※自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

(3)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。